

団体活動取りまとめシート

|  | 自治連合会大山口小学校区支部 | 地区社会福祉協議会 | 西部地区民生委員児童委員連絡協議会 | 青少年相談員連絡協議会   | 大山口小学校PTA |
|--|----------------|-----------|-------------------|---|-----------|
| 強み・自慢・売り   |                |           |                   | メンバーが持っているものを活かし、長年継続して実施してきた活動実績   |           |
| 組織   |                |           |                   | 31人(第20期青少年相談員)のうち、大山口小学校区は4名 任期:3年間<br>年齢層 20歳代~50歳代   |           |
| 活動の<br>主な収支<br>(1000円未満切捨)                               |                |           |                   | [主な収入]地区活動助成金 35,000円、参加費 62,500円<br>[主な支出]食糧費 38,000円、雑費 27,000円(貸し布団)、消耗品費 10,000円、役務費 9,000円(保険代)など  |           |
| 主な事業<br>①事業名称<br>②目的・内容等<br>③参加者<br>④運営・協力体制<br>⑤課題・将来展望 |                |           |                   | <b>①西白井地区通学合宿</b><br><b>②</b> 子どもたちが地域を知り、地域を愛そうとするきっかけをつくる。<br>小学5、6年生 25名 9月(2泊3日)<br>自分たちで献立作り、買い物、調理を行う。<br>地域の協力による「もらい湯」を経験する。<br>センターに宿泊し、小学校に通学する。<br><b>③</b> 25名<br><b>④</b> 大山口、清水口、七次台小学校区の青少年相談員の運営、青少年相談員 OB/OG、知人の協力<br><b>⑤</b> 運営・協力ボランティアの確保、参加者の確保、人材を確保し継続的に安定した事業を展開したい。 |           |
| 団体の課題<br>①人、②もの、③お金、④その他                                 |                |           |                   | <b>①</b> 人材の確保<br>・仕事等が多忙で会議や活動に参加できない相談員が多く、若くて子ども・世話好きな人がほしい。<br>・ボランティアは毎回個人のネットワークで協力要請しているが、安定的に確保したい。<br>・参加者が増えない傾向がある   |           |
| 団体の将来展望  |                |           |                   | ・色々な人が持つ知識や能力をいかし活動を充実させたい。まずは、青少年相談員の名前、存在を地域に知ってもらうことから始めたい。  |           |
| 団体活動を通して感じる地域課題  |                |           |                   | ・子どもたちのコミュニケーション力の不足<br>➡挨拶の習慣づけが必要   |           |

|  | 大山口中学校PTA | 高齢者クラブ大松長寿会  | 高齢者クラブ大山口大寿会 | ふれあい大松  | NPO法人まちづくり西白井   |
|--|-----------|--|--------------|---|---|
| 強み・自慢・売り   |           | 会員同士は友好的、協力的   |              | 頼めば来てくれる、やってくれる協力的な関係(スタッフ及び参加者を含め)   | メンバーそれぞれに専門性や多彩な経験・技能を持ち合わせている。   |
| 組織   |           | 会員:61人(微増傾向)<br>70~90歳代中心 男24人、女37人<br>役員:会長1人、副会長3人の他会計、監査<br>全体で4班体制、役員が各班の班長兼務<br>班長の役割は回覧、参加者の取りまとめ  |              | 会員:15人(減少傾向)70歳代中心、男2人、<br>女13人 団体創設から8年<br>役員:会長、副会長1人ずつ 任期はなし   | 会員:14名<br>役員:7名 理事長1名、副理事長1名、監<br>事1名 ほか  |
| 活動の<br>主な収支<br>(1000円未満切捨)                               |           | [主な収入]市補助金 80,000円、年会費<br>140,000円(年会費2,400円) など<br>[主な支出]事業費(定例親睦会)130,000円、<br>雑費20,000円、慶弔費20,000円、分担金(白<br>井高連年会費)17,000円、会議費、事務費など  |              | <ふれあい大松サロン><br>[主な収入]参加費(1回一人100円)、助成金(ボラ<br>ンティア連絡協議会から)30,000円 など<br>[主な支出]ふれあい大松&サロン 113,000<br>円、謝礼23,000円、事務費21,000円 など<br><健康体操教室><br>[主な収入]参加費(1回一人300円)、年会費 など<br>[主な支出]講師謝礼280,000円 など   | [主な収入]会費 52,000円、事業収益<br>120,000円<br>[主な支出]事業費40,000円、管理費50,000円  |
| 主な事業<br>①事業名称<br>②目的・内容等<br>③参加者<br>④運営・協力体制<br>⑤課題・将来展望 |           | ①定例親睦会<br>②地域高齢者の集い・ふれあい・交流<br>大松集会所(1時間100円)にて年6回開催(10時<br>~12時) 昼食提供(年3回)の時は11時~14時<br>内容:梨トレ体操、ゲーム・歌・脳トレ・トランプ<br>など、お茶会<br>③原則、大松地区在住 60歳以上 毎回40<br>人程参加<br>④会で運営、ふれあい大松(会員多数加入、運<br>営のノウハウの提供)、自治会(年1回回覧で入会勧<br>誘、集会所の借用)の協力<br>⑤全会員の参加が難しい(理由:病院、他サーク<br>ルへの参加)が、全員参加でバス等にて外出し<br>たい。 |              | ①ふれあい大松サロン<br>②地域のきずなづくり、ふれあいなど<br>大松集会所にて毎月第2、第4月曜(13時<br>~15時)、参加費:1回100円<br>内容:講演会、トランプ、手遊び、お茶会など<br>(医師の話が人気あり)<br>③原則、大松地区在住高齢者(若い人の参加<br>可) 毎回40人(役員含む)程参加<br>④会員15名が中心に運営、自治会(チラシ用<br>紙代、印刷代の負担、会場の無償提供)の協力<br>⑤企画のマンネリ化、参加者の固定化の傾向<br>があり、人材(PC操作、会計、ネットワークがある<br>人など)の確保、若い人たちの参加を得たい。<br>①ふれあい大松健康体操教室<br>②体力づくり<br>大松集会所にて毎週火曜(14時~15時)参<br>加費:1回300円<br>③原則、大松地区在住者、毎回20~30人参加<br>④スタッフの中での健康体操担当者3名が運<br>営、自治会(会場の無償提供)の協力<br>⑤大松住民の参加が半数強のため、地区内の参<br>加者を増やしたい。 | ①清掃活動<br>②美化活動の一環として白井市との協定によ<br>り富塚公園の清掃活動を実施 月2回<br>③毎回会員10人程度<br>④法人で実施<br>⑤現在の課題はないが、清掃活動の拡大(西白<br>井駅くらいまでのエリアの公園)が今後の検討課題。<br>①交通安全活動<br>②千葉県交通安全推進隊に加入し、小学校<br>登校時の交通安全活動を実施 月3回 7時<br>10分~25分まで<br>③毎回会員3人程度<br>④法人で実施<br>⑤現在の課題はないが、活動人数と活動頻<br>度を増やしたい。<br>①ラジオ体操<br>②夏休みに入った1週間、子どもたちを対象<br>に朝のラジオ体操を実施し、最後に文房具を<br>渡している。(最後の1週間は自治会がラジオ体操を<br>実施)<br>③毎回子ども40人、保護者20人程が参加<br>④法人で運営<br>⑤課題等は特になし。<br><br>ホームページを開設し、常時、会員を募集し<br>ている。 |
| 団体の課題<br>①人、②もの、③お<br>金、④その他                             |           | ②参加者増で会場が手狭になる。  |              | ①スタッフの高齢化・若返り<br>参加者の固定化  | ④地域への法人の認知度の向上  |
| 団体の将来展望  |           | ・加入促進し会員を増やす。ただし増えすぎ<br>ると運営が困難となる。<br>・みんなで外に出かけたい。<br>・色々な人材(市職員や住民の中で得意分野の<br>ある人)をもっと活用していきたい。   |              | ・地区の団体間との横のつながり、情報交換・<br>交流を深めたい。<br>・内容の工夫によるマンネリ化を防ぎたい。<br>・地域の若い人を取り入れた活動をしたい。   | 未来を見据え時代や社会の変化に柔軟に対<br>応したまちづくり活動<br>・人口構成やニーズに対応した事業<br>・白井市の課題に基づく事業<br>・子どもやその親を対象としたイベント  |
| 団体活動を通して<br>感じる地域課題                                      |           | ・高齢化が進行し、同じ高齢者でも元気に参<br>加する人、参加しない人と差がある。  |              | ・高齢者が自分を高齢者と自覚していないた<br>めか、参加者が増えない、活動に関心を持<br>ってもらえない。   | ・西白井地区の地域内のつながりが弱い。<br>(特に男性)   |